

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成 30 年 5 月 11 日 (NO.107)



浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

「小中一貫CS委員会」

■平成 30 年 5 月 7 日(月)、中央公民館において「第 1 回浦幌町小中一貫 CS 委員会」が開かれ、会長に松田泰一氏を選出し、小中一貫 CS 推進計画、教育の日実践交流会について審議しました。

4 年目の活動内容は次のとおりです。

議題 1 組織体制について

(会 長) 松田泰一 (学識経験者)

(副会長) 横山利幸 (校長会長)

出口和枝 (女性連会長)

(委 員) 橋本友子 (浦幌学園会長)

山岸嘉平 (浦幌学園副会長)

江ノ上秀行 (上浦幌学園会長)

角田卓也 (上浦幌学園副会長)

松橋達美 (校長会)

都鳥秀史 (校長会)

池田 哲 (校長会)

白井将之 (教頭会、CS 事務局)

佐藤めぐみ (浦幌幼稚園長)

小山内路子 (しらかば保育園長)

鈴木信男 (上浦幌公民館長)

関井まみ子 (厚内公民館長)

(学識経験者)

元木一彦、岸田 睦、林 常行

北村敦子、近江正隆、廣川健二

川原昭良 (計 22 名)

(オブザーバー 石森裕章)



第1回浦幌町小中一貫CS委員会(5月7日)

議題 2 CS の成果と課題

○学校の垣根が低くなり、地域の人子どもたちにかかわる機会が増えてきた。寿大学や公民館祭での学びが豊かになった。

○地域全体で子供たちを育む意識が醸成されてきた。常にアクションプランに立ち返り、目標を明確にした取組が増えてきた。

●「オーラポロ広場」や商工会、農協等の各種団体の協力を得て、地域学校協働活動をいっそう活性化させる必要がある。

●幼保との連携、社会に開かれた教育課程の充実、学園・学校評価委員会の機能化、学力の向上に一層力を入れる必要がある。

議題 3 小中一貫 CS 委員会推進計画

(1) 「浦幌町小中一貫 CS 委員会」の役割

(2) 学園小中一貫 CS 委員会の取組交流

・事務局の提案通り承認された。

議題 4 「第 1 回教育の日実践交流会」

(期日) 6 月 16 日(土) 9:00~11:50

(場所) 教育文化センター

(実践発表) 「スマホ・ゲーム機使用のルール」取組報告

(講演)

講師 横山一男氏(前清水町教育長)

演題 「基本的な生活習慣及び家庭学習の定着と学力・体力の向上」